

2012年アートフェスティバルの看板の前が我が家への入口すでに第1～第3エリアは整備がおわり、第4エリアにかかりました、このエリアは入り口から30から40mのところ、大きい山ツツジを中心としたところです。

難関は太さ20cmのクヌギと唐松です、本道と自分の家に入る道に挟まれた斜面に生えていますが、本道の日当たりに魅せられて30数年の間に本道の方に傾いています。

傾きは8mの高さで1mくらいですが、本道に倒すとアスファルト舗装を壊す恐れがあるのと、車が通るので通行止めになってしまうと困るので傾きとは反対の自分の家に入る道側に倒さなければなりませんので大変です。

この作業は素人の私には、いささか荷が重い仕事でしたので、楽しもう会の切り札高橋さんの時間の都合がよい時間を待っていました、ようやく高橋さんの時間がとれたので、二人で難関(私にとって)に挑むことになりました。

最初に本道より遠いクヌギを倒すことにしました、クヌギの木の出来るだけ高い位置にロープをかけて、ひっぱりながら倒す作戦です、私がロープを投げ(非常にうまく投げた)5mくらいのところにロープをかけることができましたので、後は側道(私の家に入る)を超えた松の木にロープを張り、手動ウィンチを2連入れて、最初のウィンチでロープのたるみをなくすことに成功しました。

いよいよクヌギの木を伐採にかかりました、通常通り倒す方に45度の刻みを幹の半分まで入れ、倒す反対の方を半分近いきり込んだ後、第2のウィンチを動かし引っ張ると、徐々にクヌギの木が垂直になっていきました、更に引っ張りチェーンソーを少し入れると、見事本道とは反対の方向に倒れました、感激でした。

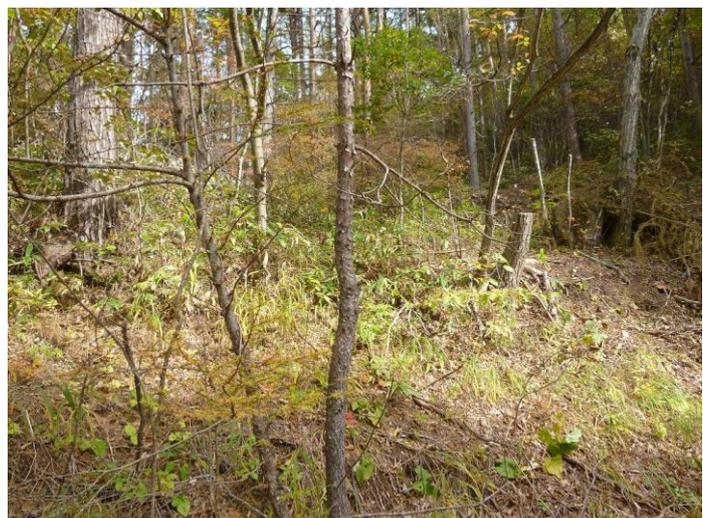
少し休んで、本道に近い唐松に挑むことにしました、同じ様にロープを投げてみました、3回目に思うような高さに掛けることに成功しました、クヌギの木を倒したと同様にして、順調に側道側に倒れていきましたが、赤松の木の枝に少し引っかかり抜けるかと思われましたが、そのまま動かなくなりました、ゆずってもだめでしたので、高橋さんの奥の手ロープをさらにかける軽トラックで引っ張りました、見事奥の手成功。

2本の大物を伐採したあと、第4エリアの小木を全て木倒して、枝を処分して終了です。

これで、本道から大きなツツジが見えます、来年の6月が楽しみです、唐松はみんなのテラスの基礎材料となります。



<第4エリア西から撮影>



<第4エリア北から撮影>